

## 公営企業の抜本的な改革の取組状況(令和5年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
茨城県南水道企業団	水道事業	—	—

### 実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営 体制を継続
事業廃止	民営化・ 民間譲渡	地方独立 行政法人 への移行	広域化等	民間活用			
				指定管理者 制度	包括的 民間委託	PPP/PFI方式 の活用	
			●		●		

### 抜本的な改革の取組状況

取組事項	(水道事業)広域化等							
実施済	●	(実施類型)		(取組の概要)		(実施(予定)時期)		
		●	●	近隣事業体であった利根町からの編入要望(H17)がきっかけである。要望後、構成市及び利根町、県企業局等との協議を重ね、平成24年4月1日に利根町水道事業と統合した。利根町が給水区域となったことで、利根町分の給水人口が約17,000人、給水戸数が約6,000戸増となった(H23.3時点)。統合により、給水収益、下水道料金徴収事務負担金が、統合前と比較した単年度の収益増加分として明確に表れているが、人口減少に伴い給水収益が減少傾向であること、施設の老朽化により多額の更新費用が必要となっている等の問題も抱えている。		平成		
		●	●			24	4	1
実施予定						年	月	日
		(取組の効果額)		(取組の効果額内訳)				
		百万円(年)		令和4年度に新たに実施した取り組みは特になし。				
検討中		(取組の概要)		(検討状況・課題)				

取組事項	民間活用(包括的民間委託)							
実施済		(取組の概要)		((実施済のみ)性能発注内容)		(実施(予定)時期)		
						年	月	日
実施予定								
		(取組の効果額)		(取組の効果額内訳)				
		百万円(年)						
検討中	●	(取組の概要)		(検討状況・課題)				
		営業業務の効率化を図る方法として検討したことがきっかけ。営業業務(窓口、料金徴収、検針、開閉栓、量水器交換)を一括して委託すること、また複数年契約とすることを検討している。		経費削減効果の試算中の段階。課題は事務処理等の技術継承、事業運営ノウハウの維持、職員の定数管理を考慮した導入時期。				